

千葉市議会議員

ふくだにしゅうこ



# 福谷章子の

## 街づくり通信

1 2011年5月

編集・発行：福谷章子

会派（未来創造ちば）

福谷章子の日記（ブログ）：<http://fukutani.blog.ocn.ne.jp/blog/>

ツイッター：<http://twitter.com/shoukosan> メール：[fukutani2903@gmail.com](mailto:fukutani2903@gmail.com)

千葉市緑区おゆみ野 3-40-8 河野ビル 213 TEL&FAX: 043-312-2903

## 初登庁を終えて

5月2日、千葉市議会は改選された議員の初登庁式でした。16人の新人議員と二期目の13人とで過半数となる若返りを図った千葉市議会。その中で、三期目となった私の役割は大きく、責任重大です。これまでの8年間の経験をしっかりと活かし、新たなスタートを切るつもりで、議員活動、地域活動、政治活動、調査活動に臨みます。

## 新しい会派の結成

今期は、無所属として議会の中でどのようなスタンスをとるか、当選直後から真剣に考えてきました。8年間の議会経験から、

- ・有権者からの負託に応えるためには、議会内において一定の勢力となる必要がある。
- ・二元代表制においては、議会が統一見解をもって市長と相対することでその権能を発揮することができる。

ということを知り、さまざまな体験をしました。負託された市民の想いを議会内に浸透させていくには様々な方法がありますが、その中で会派が担うものは大きいのです。したがって、何人かの議員で会派を構成できるように、当選直後から話し合いを重ね、合意形成を試みました。

その結果、良い形でスタートが切れる環境が整い、**新しい会派の結成**に至り、4月28日に、記者会見を行い、新聞報道もされたところです。

無所属というと、何をどう考えているのか分からない、烏合の衆ではないか、という厳しい見方もあります。そういった見方を甘受した上で、会派を組むに至った思いはお伝えしておかねばならないと思います。

誰にもわかりやすい不変の思想を持ち続けることに、私は若干の違和感があります。人の思考とはそんなに単純なものではない。ましてや知識が増えれば思考にも幅ができ、その結果、思想も変化するものだと思っています。したがって、議会の中でしっかりと力を発揮するには、できるだけ多くの異なる考えと合意形成を図る努力を常にすることが、議員に課せられた義務であると考えます。

条例提案 5人以上（定数54の12分の1以上の賛同者）

交渉会派 4人以上（議会運営委員会、特別委員会の委員ポスト 幹事長会議のメンバー）

代表質問 2人以上

会派割り当ての質問時間が人数に比例して増えるなど、会派本位の制度は他にもあります。

# 新会派 未来創造ちば について

さまざまなバックグラウンドを持つ無所属で当選した議員によって構成される会派です。したがって、結成にあたっては常に立ちかえる指針が必要であり、まずはそれを作ることについて、真剣に話し合いました。会派名もその指針について話し合う中で、おのずと決まりました。**初代幹事長**には人畜無害な私が就任しました。

今回、背景の異なる議員が話し合いを重ね、合意できる事項を丁寧にあぶり出して方針を決めることができたのは、意味があることだと思います。二元代表制における議会とは、どのようにあるべきか。議員とは、地域の中でどんな役割を果たしていくべきか。これから議会改革に取り組むに当たり、まずはこれらの役割の再検討が求められるのではないのでしょうか。

## 【会派名】

**「未来創造ちば」**      ~ 千葉から日本を元気にする ~

未来創造ちばは、市議会議員としての基本的な「行動指針」及び目指すべき「政策」を掲げ、それらに賛同した一党一派に偏らない無所属議員による会派

## 【行動指針】

1. 公明正大
2. 多様性の尊重
3. 行動し挑戦し続ける
4. 傾聴と発信



## 【スタンス】

- ・市長与党・野党というスタンスではない
- ・市長提案には"真に市民のためになるか"で一つ一つ判断
- ・誰もが住んでいて良かった と実感できる持続可能な地域社会を作り上げるコーディネーターとなる
- ・温故知新
- ・改革はまず議会から始める
- ・常に先進的役割を果たすことを目標とする

## 【政策】

1. 議会改革 議員定数の削減から始める"議会まるごと"改革
2. 地域コミュニティの再生 支え合いによる新しい"絆"社会
3. 未完の都市を魅力の都市へ "千葉を日本の新しいモデルに"

先ず隗より始めよ。議会まるごと改革のスタートです。